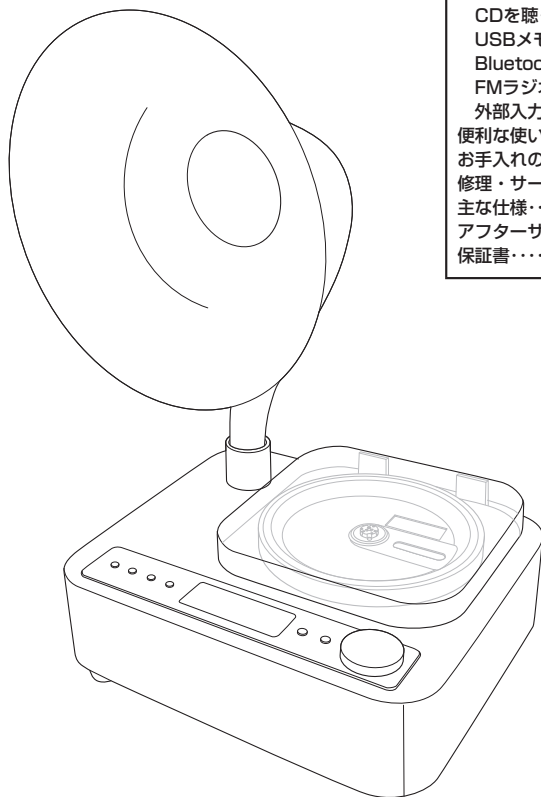


ORION

Bluetooth[®]機能搭載CDホーンスピーカー SMS4BT

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保管してください。





も く じ



安全上のご注意	P. 2
ご使用になる前に	P. 4
各部の名称とはたらき	P. 6
使用前の準備	P. 8
正しい使いかた	P. 11
通常の操作	P. 12
CDを聴く	P. 14
USBメモリーのMP3を聴く	P. 19
Bluetooth [®] 機器を聴く	P. 20
FMラジオを聴く	P. 22
外部入力を聴く	P. 24
便利な使いかた	P. 25
お手入れのしかた	P. 27
修理・サービスを依頼する前に	P. 28
主な仕様	P. 31
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

安全上のご注意





- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	⓪は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⓪の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)





警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 電圧の違うところ、自動車・船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・感電の原因になります。	 禁止	本体に強い衝撃を与えたり、落下させたりしない。 衝撃を与えてしまったときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、点検修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)はACアダプターを抜き、使用を中止する。 火災・感電の原因になります。ACアダプターをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。	
	海外で使用しない。 本機は日本国内専用です。		雷が鳴り始めたら、ACアダプターに触れない。 感電の危険があります。		 指示	ACアダプターはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		ろうそくなど、炎の出るものを近くに置かない。 炎が近づくと、火災の原因になります。			ACアダプターの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したままACアダプターを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	ACアダプターの電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		温度の高いところ、水蒸気の多いところ、湿度が高いところ、直射日光が当たるところ、屋外、振動の多いところに設置しない。 火災・感電・故障の原因となります。			電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	電源コードを、乳幼児の手の届くところに置かない。 コードが誤って首に巻きついたりして事故の原因になります。		本機に対してスプレー式のエアスターを使用しない。 本機の内部にガスがたまると、引火して爆発する原因になります。			電池を子供にさわらせない。子供の手の届かない場所に保管する。 新品および使用済の電池を子供に近づけないでください。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。		CDのレンズをのぞきこまない。 レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。			リモコンのふたがしっかりしまらない場合、製品の使用を中止して子供の手の届かないところに保管する。 電池交換時、リモコンのふたは確実に取り付けてください。
本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。						

警告

 プラグを抜く	使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドゥンジャカスタマーセンター（裏表紙参照）にご相談ください。	 めくれ手禁止	めくれた手でACアダプターを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	お手入れのときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。		本書で指定された使用方法以外（分解や改造など）を使用するとCDのレーザーダイオードによる危険な放射能被ばくを引き起こす原因になります。		 水ぬれ禁止

注意

 禁止	次のようなところでは使わない。 ●ガスコンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかる場所 ●ホコリの多いところ 変色・変形・火災・感電の原因になることがあります。	 禁止	リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。	 指示	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	熱のごもりやすい狭い場所、自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災や感電の原因になります。		通風孔をふさがない。 通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因になることがあります。		音量に注意する。 使用前には音量を最小にするようにし、使用中も音量を大きくしすぎないように注意してください。長時間、耳を刺激する大きな音量で聴き続けると、聴力に悪い影響を与えます。
	不安定な場所・傾斜のある場所で使わない。 転倒したり落下して、けが・故障の原因になることがあります。	 指示	電池の極性に注意する 電池を取り付けるとき、電池の+（プラス）と-（マイナス）に注意し、正しく入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		接続に注意する。 本機の入力端子へ接続した機器の過大信号によっては、本機を傷めたりすることがあります。正しい接続をしてください。
	お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		ACアダプターを抜くときは電源コードを持たずに必ずACアダプターを持って抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。		本機を設置するときは、壁から20cm以上の間隔をあける。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上の間隔をあける。 内部に熱がこもり、火災の原因になります。
指定以外の電池を使用しない。違う種類の電池、新旧の電池を混ぜて使用しない。 電池の破裂や液もれにより、火災・けが・故障の原因になることがあります。		長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。			

ご使用になる前に

CD(MP3) USBメモリーについて

USBメモリー ・ ファイルシステム FAT32

- ・ USB2.0対応
- ・ ~32GBまで対応

本機は、USBマスタストレージクラスデバイスにのみ対応しています。お使いのUSB機器がUSBマスタストレージクラスであるかは、直接USB機器の発売元にお問い合わせください。

※本説明書では接続できるUSB機器を「USBメモリー」と記載しています。

- ・ USBハブを介してUSB機器を使うことはできません。
- ・ 本機はUSBメモリーに記録されたMP3ファイルを再生することができます。
- ・ DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。
- ・ 機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。

CD

- ・ レッドブック：Audio CDフォーマット
- ・ ISO9660 準拠
- ・ CD-R/CD-RWに対応

本機は、CD-ROM、CD-RまたはCD-RWに記録されたMP3ファイルを再生することができます。パソコンなどを使ってMP3のディスクを作成する際は、使用するソフトの説明をよくお読みください。

「CDについて」(→5ページ)もお読みください。

- ・ マルチセッションには対応していません。最初のセッションのみ再生します。

MP3

- ・ 正式名称をMPEG-1 Audio Layer-3という音声圧縮の規格。
- ・ MP3データの認識はファイル拡張子「.mp3」で行ないます。ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子「.mp3」のないファイルは本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」を付けていてもMP3データ形式でないファイルは再生できません。

MP3 再生可能ファイル共通事項

- ・ ビットレート 96 ~ 320kbps (推奨)
- ・ サンプリング周波数44.1kHz/48kHz
- ・ 99以上のファイルまたは99以上のフォルダーが記録されたディスクまたはUSBメモリーは、正常に再生できないことがあります。
- ・ 本機は、ビットレート32kbps~320kbpsのMP3ファイルを再生できます。
- ・ 可変ビットレートで記録されたファイルは、正常に再生できないことがあります。
- ・ MP3データの状態によっては、本機では再生できなかったり、特殊再生が正しく動作しなかったり、音が途切れることがあります。
- ・ サンプリング周波数32kHz、可変ビットレートで記録されたファイルを再生した場合、表示部が一部正しく動作しないことがあります。

MP3 ファイルの再生順番について

- ・ 複数のフォルダーにMP3ファイルを書き込むと、各フォルダーごとにフォルダー番号を付けます。フォルダー番号の若い順に再生します。
- ・ 書き込まれるフォルダーとファイルの順番情報は、書き込みソフトによって異なることがあります。予想した再生順番と異なる順でファイルが再生されることがあります。

Bluetooth について

Bluetooth (ブルートゥース)

本機はBluetoothの無線技術「ワイヤレスシステム」を搭載しています。対応するプレーヤー、携帯電話などの音楽をワイヤレスで聴くことができます。

電波に関する注意事項

本機の使用周波数帯は、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。

- ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万が一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに電波の発射を停止してください。

通信について

- ・ Bluetooth対応のマウスなどのパソコン関連機器と、ヘッドホンなど音楽機器を同時に使用する、音が途切れたりすることがあります。
- ・ 本機などのBluetooth機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると電波障害を互いに発生させて、通信速度低下や接続不能になることがあります。このような場合は、使用周波数を変更するか、できるだけ離して(10m程度)使用します。
- ・ 本機はすべてのBluetooth機器と接続を保証するものではありません。また接続するまで時間がかかるものがあります。
- ・ Bluetooth機器どうしの接続で、対応する規格、周波数帯域、プロファイルの種類などによって接続できないことがあります。

安全にご使用いただくために

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などに影響を与えることがあります。場合によっては事故をひきおこすこともありますので、以下のようなところでは持ち込まない、または電源を入れないようにしてください。

- ・ 病院など医療機関、電車・航空機
- ・ 自動ドアや火災報知機の周辺
- ・ 心臓ペースメーカー、医療用電子機器の近く

Bluetooth 機能を搭載したセットを改造して使用したときは電波法に抵触します

本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技術マーク(㊦)」が本機の裏面に表示されています。改造すると、技術基準適合証明が無効となります。無効状態で使用すると、電波法に抵触しますので絶対に改造しないようにお願いします。

Bluetooth 機能は日本国内で使用してください

本機のBluetooth機能は、日本国内での無線規格に準拠し認証を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社ドワンゴは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Bluetooth部	仕様
適合規格	Bluetooth Ver.5.3
通信出力	Class2
使用周波数帯域	2.4GHz 帯 (2.402 ~ 2.480GHz)
変調方式	GFSK.
プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC
通信距離*	(見通し) 約 10 m*
同時接続台数	1 台
記憶可能ペアリング台数	1 台

* 通信距離は目安です。周囲の環境により距離が変わることがあります。

お使いのBluetooth機器によっては接続できないことがあります。詳しくはお使いのBluetooth機器の説明書をご確認ください。

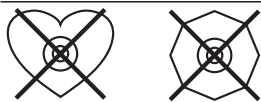
CD について

結露について
 寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、曇ったりする結露現象が起きます。
 この状態でご使用になると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して、1時間程放置してください。

ディスク使用上の注意
  ディスクに左のマークが入ったものをご使用ください。
 コピーコントロール CD (CCCD) や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正しく再生できないことがあります。

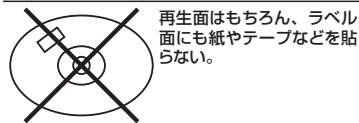
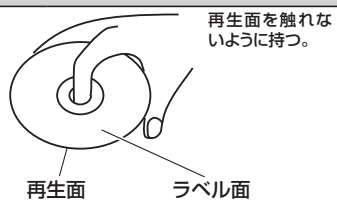


ひびやそりのあるディスクは絶対に使わない。
 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

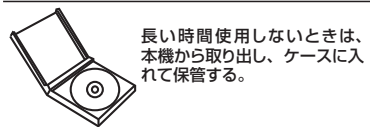
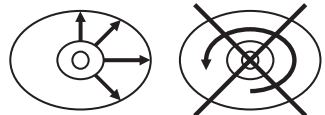


ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しない。
 機器の故障の原因となります。

ディスク取り扱い上の注意



ディスクに指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで、放射状に軽く拭き取る。



※クラス 1 レーザ製品です。

電池について

電池を扱うときには

- ・ 指定以外の電池は使用しない。
- ・ 極性表示を間違えないで挿入する。
- ・ 水や火の中に入れてたり、充電・加熱・分解・ショートしない。
- ・ 液漏れがおきたら使用しない。

電池はもちろん、本体も液がついた状態で使用すると危険なため、直接触れずに拭き取るようにし、販売店にご相談ください。
 万が一、液が体に付いてしまった場合は、水で十分に洗い流すようにしてください。

- ・ 長時間使用しないときは電池を取りはずす。
- ・ 使いきった電池や、使用推奨期限の過ぎた電池もはずしておく。

使用環境について

結露について

- ・ 寒いところから急に暖かい場所へ移動させると、内部に水滴が付いたりする結露現象が起きます。

この状態で使用すると、正しい動作をしないことがあります。このようなときは、電源を入れて1時間程放置してください。内部の熱で結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

FM補完放送について

FM補完放送(ワイ・AM放送の放送区域において難聴・災害対策のため、FM放送の周波数(従来の76~90MHz、新たに設定された90.1~95MHz)を用いて、AM放送の補完的な放送をしています。

本機は FM 補完放送に対応しています。

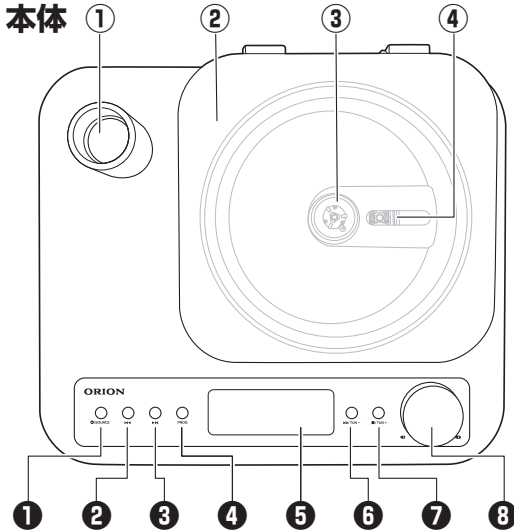
※ FM 補完放送を実施している放送局、周波数、聴取エリアなどは地域によって異なります。詳しくは各地域の放送局ホームページなどを確認してください。

免責事項について

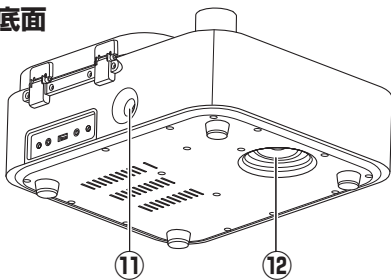
お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱・故障・その他の不都合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品の故障・誤動作または不都合によるディスクなどへの記録された内容の損害及びお客様または第三者が製品利用の機会をのがしたために発生した損害など、付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

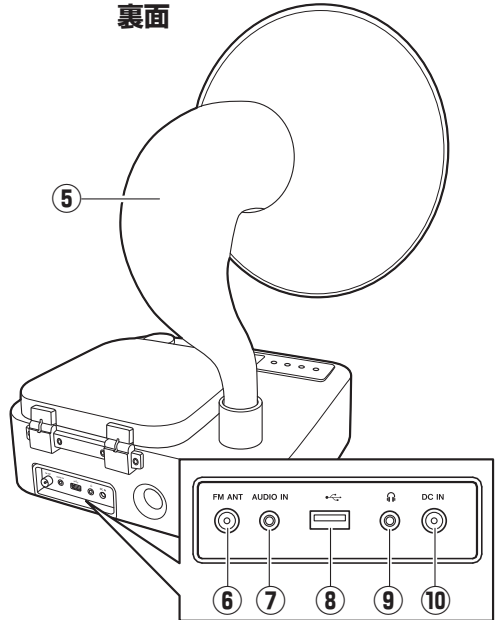
各部の名称とはたらき



底面



裏面



警告

CDのレンズをのぞきこまない、指で触れない
レーザー光が目当たると視力障害を起すことがあります。



注意

ウーファースピーカーに直接触れない。
破損や変形して音が変わる原因になります。

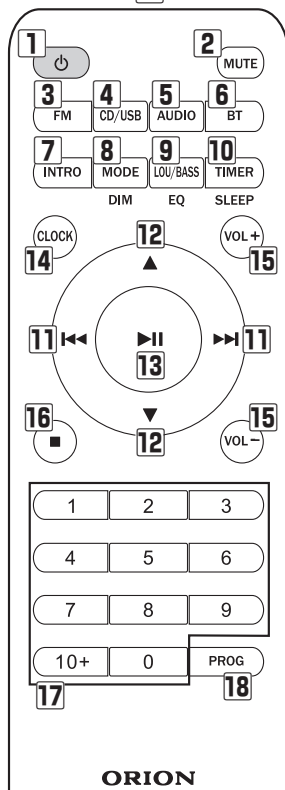
名称

機能

本体操作部

① 電源/入力切替ボタン (電源ランプ)	⏻ / SOURCE	電源を入/切(スタンバイ)、または使用するモードを切り替えます。 押すと電源が入り、押すたびに入力切替(モード切替)、長押しで電源切(スタンバイ)になります。 DISC(CD) → BT(Bluetooth) → FM → AUDIO IN → USB → DISC(CD)
② スキップ/早戻し ボタン	⏮	前の曲に移動します。再生中は曲の始めに戻ります。再生時に長押しすると早戻しします。FM使用時は前のプリセット局に移動します。
③ スキップ+/早送り ボタン	⏭	次の曲に移動します。再生中は次の曲、最後の曲のときは最初の曲にスキップします。長押しすると早送ります。FM使用時は次のプリセット局に移動します。
④ PROGボタン	PROG	プログラム再生時に使用します。
⑤ 表示部		各種情報を表示します。
⑥ 再生/一時停止/ チューニングボタン	▶ / TUN -	再生または一時停止します。 TUNER使用時は、放送局を逆順に選局、長押しで逆順に自動選局します。
⑦ 停止/チューニング+ ボタン	■ / TUN +	曲を停止します。 TUNER使用時は、放送局を順に選局、長押しで順に自動選局します。
⑧ 音量つまみ		音量を調節します。

リモコン 0



ORION

0	送信部	本機に向けて操作します
1	電源ボタン	電源を入/切(スタンバイ)します
2	MUTE 消音ボタン	音量を一時的に0(無音状態)にします(もう一度押しすと、元の音量に戻ります)
3	FM FMボタン	FMモードにします(FMラジオを受信します)
4	CD/USB CD/USBボタン	DISCモード/USBモードにします(CD/接続したUSBメモリーから再生します)
5	AUDIO AUDIOボタン	AUDIO INモードにします(接続した外部機器からの音声を再生します)
6	BT BTボタン	BTモードにします(接続したBluetooth機器の音声を再生します)
7	INTRO INTROボタン	イントロ再生をします
8	MODE MODE/DIMボタン	リピートモード、シャッフル再生の切り換え、長押しで表示部の明るさを変更します
9	LOU/BASS LOU/BASS/EQボタン	音質を変更します
10	TIMER TIMER.SLEEPボタン	オンタイマー・スリープタイマーを設定します
11	スキップ+/-ボタン	1曲先に進めます/1曲前に戻ります
12	上下ボタン	フォルダーの変更やプリセット局の変更に使用します
13	再生/一時停止ボタン	再生または一時停止します
14	CLOCK クロックボタン	時刻を表示・設定に使用します
15	VOL+VOL- 音量ボタン	音量を調節します
16	停止ボタン	再生中の曲などを停止します
17	1-0/10+ 数字ボタン	曲番号を入力します
18	PROG プログラムボタン	曲のプログラム再生に使用します

名称	機能
本体	
① ホーン部取付位置	ホーン部を取り付けます
② CDカバー	CD部をホコリなどから保護します(CD再生時にはCDカバーを閉じます)
③ スピンドル	CDを取り付けます
④ レンズ	CDからデータを読み込みます ※絶対に指で触れたり、直接見たりしないでください
⑤ ホーン部	左右に動かすことで音の指向性を調節できます
⑥ FMアンテナ端子	FM ANT 付属のFMアンテナ線を接続します
⑦ 外部入力端子	AUDIO IN 外部機器を接続します(3.5mmミニプラグ)
⑧ USB端子	外部機器を接続します
⑨ ヘッドホン端子(モノラル)	ヘッドホンを取り付けます(3.5mmミニプラグ)
⑩ 電源端子	DC IN ACアダプターのプラグを接続します
⑪ バスレフポート	低音を増強します
⑫ ウーファースピーカー	低音を再生します ※直接さわらないようにしてください

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1個	FMアンテナ.....	1本
ホーン部.....	1個	オーディオ接続ケーブル(φ3.5 mm).....	1本
リモコン.....	1個	ACアダプター.....	1個
単4形乾電池(おためし用).....	2個	取扱説明書(保証書含む).....	1冊

設置

1. 水平で振動しない安定した場所で音が吸音しない場所に本体を設置する

本体底部にあるウーファースピーカーからの出力もあります。



注意
本機底面にはウーファースピーカーがあるので、設置場所に注意する。
凸凹のある場所に設置すると、ウーファースピーカーを破損する原因になります。

FMアンテナの取り付け

1. FMアンテナ端子に付属のFMアンテナを取り付ける

2. アンテナを受信状態が一番良い位置を探して、適当な位置で固定する

詳細は「FMラジオを聴く」(⇒22ページ)



注意
FMアンテナは、子供の手の届く範囲に設置しない。
アンテナ線がからみついたりして、事故の原因になります。

※ 本機のアンテナ入力端子は「PAL 端子」です。
RF端子を使用するときは、市販の変換プラグをご使用ください。

ACアダプターの取り付け

1. 本体の電源端子 (DC IN) にACアダプターのDCプラグを差し込む

2. ACアダプターをコンセントに差し込む

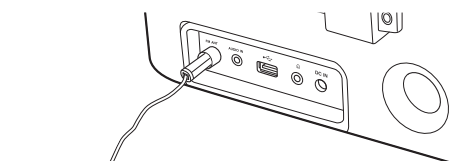
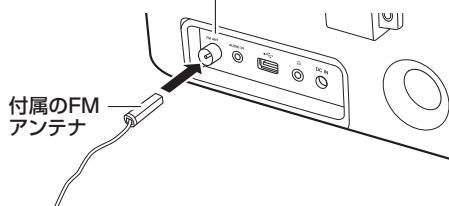
通電すると、本体の表示部に「---:---」が点滅表示されます。



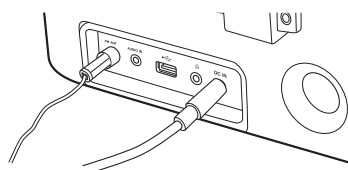
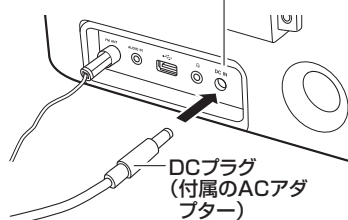
注意
• 長時間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜く。
火災、事故などの原因になります。
• めれた手でACアダプターを扱わない。
感電、火災、故障の原因になります。

※ ACアダプターをコンセントから抜くと、本機で設定した内容はリセットされます。

FMアンテナ端子



電源端子



リモコンに電池を入れる

※ 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。

※ ボタンを押しても動作しない、動作が不安定なときには、新しい電池（単4形乾電池）を用意して、以下の方法で電池を交換してください。

1. リモコン裏面のマーク部分を押しなが
らスライドさせてふたをはずす
2. 電池の極性（ \oplus \ominus ）に注意して、電
池を取り付ける

電池は \ominus （ばね側）を先に入れてから、 \oplus 側を入れてください。



注意

- 電池の破裂や液もれを防ぐため、 \oplus \ominus を正しく入れる。
- 電池を無理に押し込んでばねを押しつぶさない。

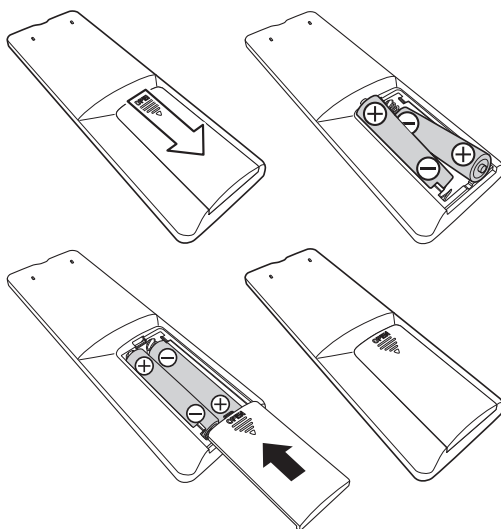
3. ふたを取り付ける

カチッと音がするまでスライドさせてください。



注意

- 長時間リモコンを使用しないときは、電池を取りはずす。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。



リモコン使用可能範囲

リモコンの操作は、本機から約5メートルの範囲でお使いください。

本機のリモコンについて

一般的な赤外線仕様のリモコンとは違い、無線通信を使用して本機と接続されています。本体の電源を入れたとき（ACアダプターをコンセント接続したとき以降）に初めて信号が送信されたリモコンと接続します。本機を2台以上使用される場合はリモコンを使い分けてください。

ホーン部の取り付け

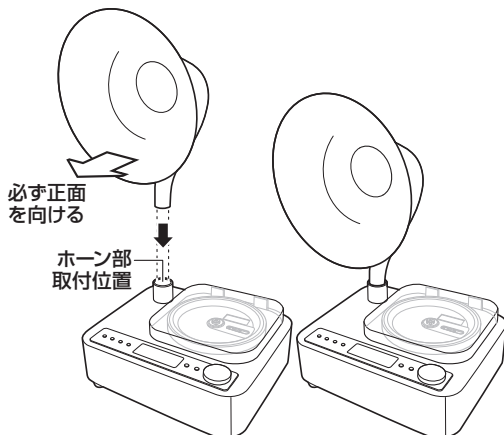
1. 本体左上のホーン部取付位置に、
ホーン部を正面にして先端を取り付
ける

ホーン部は正面を向け、本体に対して垂直に取り付けてください。



注意

本体を持ち運ぶ際や背面などの接続をやりなおすときは、ホーン部をはずす。本体に角度を付けると、不意にホーン部がはずれて破損の原因になります。



使用前の準備（つづき）

時計を合わせる

ACアダプターをコンセントに接続すると、表示部に「--:--」が点滅表示されます。

以下の手順で時計を合わせてください。

・時刻を設定するとオンタイマー機能が使用できません（▶26ページ）。

1. スタンバイ状態でリモコンの CLOCK クロックボタンを長押しする

表示部に「CLOCK SET」と表示されます。

2. リモコンの SKIP+/- ボタンで12時間(AM/PM)表示または24時間表示を選択し、 CLOCK クロックボタンを押す

12時間(AM/PM)表示 「CLOCK 12H」

24時間表示 「CLOCK 24H」

3. リモコンの SKIP+/- ボタンで「時」を設定して CLOCK クロックボタンを押して確定、同様に「分」も設定する

・「時」を設定後、 CLOCK クロックボタンを押すと「分」を設定することができます。

・「分」を設定後、 CLOCK クロックボタンを押すと設定時刻が確定し時計機能が開始します。

※ 設定をやめるときは STOP 停止ボタンを押します。

※ 90秒以上無操作状態がつづくとき時刻の設定がキャンセルされます。



注意

ACアダプターをコンセントから抜くと、時計がリセットされます。再度設定が必要になります。

正しい使いかた

この取扱説明書は、リモコンでの操作方法を中心に説明しています

ふたつのスタンバイ状態

本機にはふたつのスタンバイ状態があります。

1. スタンバイ状態でリモコンの電源ボタンを長押しする

スタンバイ状態が切り替わります。

・ 通常のスタンバイ状態

終了時に「BYE BYE」と表示されます。
スタンバイ状態では常に時計を表示します。

・ エコパワー・スタンバイ状態

終了時に「ECOPOWER」と表示されます。
エコパワー・スタンバイ状態では、時刻は表示されません(本体の電源ランプが点灯)。

オートパワーオフ

本機は以下の状態で15分以上操作しないと自動的に電源をスタンバイ状態に切り替えます

- ・ DISCモード・USBモード・AUDIO INモード・Bluetooth機器未接続時。
- ・ 再生を停止したとき
- ・ 再生を一時停止しているとき。

※ TUNERモード、BTモードでBluetooth機器接続時については対応していません。

※ 外部入力端子にスマートフォンなどの音量調節機能のある機器を接続する場合は音量を半分以上に上げてください。小音量の場合、オートパワーオフが正しく動作しません。

時計を確認する

エコパワースタンバイ状態のときは、表示部に何も表示されていませんが、リモコンの CLOCK ボタンを押すことで時計を確認することができます

《エコパワースタンバイ状態のとき》

1. リモコンの CLOCK ボタンを押すことで時計を見る

表示部に時刻が表示されます。

表示部の明るさを調節する

表示部が明るすぎる時など、お好みの明るさに表示を変えることができます。

1. リモコンの MODE MODE/DIMボタンを長押しする

MODE MODE/DIMボタンを長押しするたびに表示部の明るさが変化します。3段階で明るさを調節できます。

正しい使いかた

通常の操作

1. リモコンの **電源ボタン** を押して電源を入れる
2. リモコンの **VOL+** **VOL-** 音量ボタンで音量を調節する

入力モードによって自動的に再生が開始されるため、音量を調節します。

3. 消音するときにはリモコンの **MUTE** 消音ボタンを押す

リモコンの **MUTE** 消音ボタンを押すと音量 0 になります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- ・消音中は表示部に「MUTING」が点滅表示されます。
- ・消音中に本体の音量つまみを回したり、リモコンの **VOL+** **VOL-** 音量ボタンを押すと、消音は解除されます。

4. リモコンの各入力ボタン (**FM**、**CD/USB**、**AUDIO**、**BT**) でモードを切り替える

- ・接続している機器によって、モードの切り替えに、(音を出すまでに)時間がかかることがあります (USBモードなど)。

5. リモコンの **LOU/BASS** LOU/BASS/EQボタンを押して好みの音質に調節する

イコライザー機能

リモコンの **LOU/BASS** LOU/BASS/EQボタンで好みの音質に切り替える

好みの音質でお楽しみいただける、5パターンのイコライザー機能が内蔵されています。

- ・リモコンの **LOU/BASS** LOU/BASS/EQボタンを押すたびに、ポップス (POP) → ジャズ (JAZZ) → ロック (ROCK) → クラシック (CLASSIC) → フラット (FLAT) → ポップス (POP) … と音質が切り替わります。

DBB機能・ラウドネス機能

リモコンの **LOU/BASS** LOU/BASS/EQボタンを長押しすると、DBB ON、LOUD ON と切り替わる

DBB 低音域が増幅されます

LOUDNESS 小さい音量時に高音・低音を増強した音にする

イコライザー機能やDBB機能・ラウドネス機能の併用はできません。


6. 聴き終わったら、音量を0（無音状態）にして、リモコンの電源ボタンを押して、スタンバイ状態にする


・スタンバイ状態ではBluetoothの接続は切断されます。

7. 長期間使用しないときは本体のACアダプターをコンセントから抜く

ACアダプターをコンセントに接続したままにすると、実際使用しなくても、少なからず電力は消費されます。

・CD、USBメモリーなど装着したままにしないでください。

 警告	使用後は必ず電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
---	--

 注意	ACアダプターをコンセントから抜くと、時計がリセットされます。 再度設定が必要になります。
---	--

ヘッドホンを使う


1. リモコンのVOL+ VOL- 音量ボタンで音量を最小にする

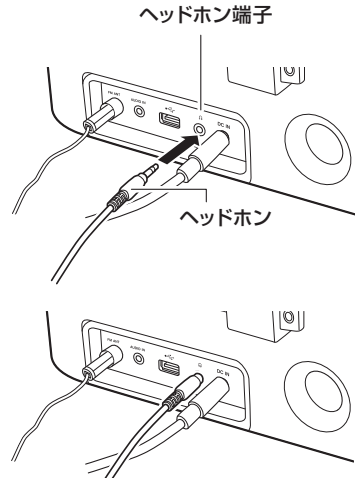
2. 本体裏面のヘッドホン端子にヘッドホンを接続する

・ヘッドホン端子に接続するとスピーカーから音が出なくなります。
接続したヘッドホンを取りはずすと音が出るようになります。

※ 本機のヘッドホン端子からの出力はモノラル音声です。

3. リモコンのVOL+ VOL- 音量ボタンで適切な音量に調節する

 注意	ヘッドホンを使って大音量で長時間聴くことはしない。 聴力に悪影響をおよぼすことがあります。
---	--



正しい使いかた (つづき)

CD を聴く

通常再生をする

1. リモコンの **CD/USB** CD/USBボタンで DISCモードに切り替える

表示部に「DISC」が表示されます。

- CDが入っていない状態では「NO DISC」表示が出ます。

※ **CD/USB** CD/USBボタンは、押すたびにCDとUSBが切り替わります。

2. 本体のCDカバーを開き、スピンドルにCDを取り付ける

CDカバーを開くと、「OPEN」表示が出ます。CDのラベル面を上にしてスピンドルに取り付けてください。

- CDの損傷や故障を避けるために、必ずCDは水平に正しくスピンドルに取り付けてください。8cm CDの場合も同様に水平にスピンドルに取り付けてください。

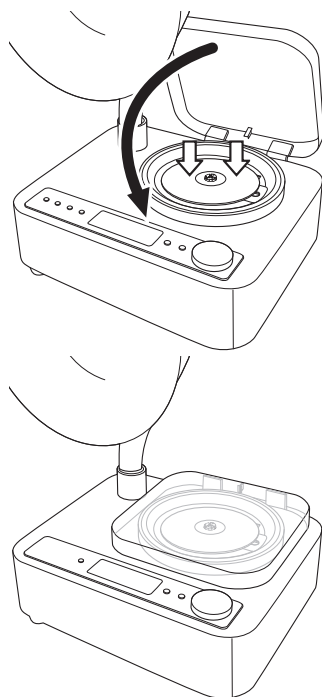
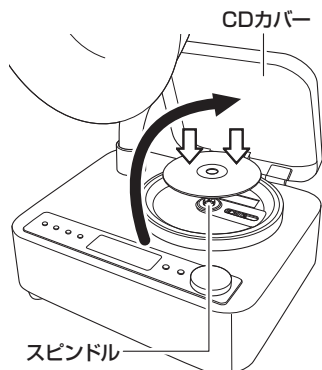
3. CDカバーを閉じる

「READING」表示が出て、CDの読み込みを始めます。

※ CDカバーを正しく閉めないと再生できませんので、ご注意ください。

- 読み込みできないCDと判断されると、「UNK DISC」表示が出ます。

※ 「CDについて」(➡5ページ)もご覧ください。



• CDとスピンドルの間、CDカバーと本体の間に指やものなどを挟まないように注意する。



• 音楽CD、MP3 CD以外入れない。データCDやDVDなどを入れると、異音が発生することがあり、スピーカーや耳を痛め、故障の原因になります。

4. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する



曲番号1から再生が開始されます。

- 表示部に曲番号と経過時間が表示されます。
- ※ 本機はレジューム機能を搭載しています。再生中に電源を切ったり、モードを切り替えたりしても再生(演奏)を停止させた曲から再生されます(ただしCDによってはレジューム機能が働かないものもあります)。




曲を進める スキップ+ボタン

- 再生中にスキップ+ボタンを1回押すごとに次の曲に進みます。
- 最後の曲の次は、最初の曲に戻ります。
- 本体では「スキップ+ / 早送りボタン」を押して操作します。



曲を早送りする スキップ+ボタン

- 再生中にスキップ+ボタンを長押しすると聴いている曲が早送りされます。
- スキップ+ボタンを離すと通常再生に戻ります。



曲を戻す スキップ-ボタン

- 再生中にスキップ-ボタンを1回押すと曲の最初に戻ります(再生開始直後は除く)。
- スキップ-ボタンを1回押すごとに1曲戻ります。
- 本体では「スキップ- / 早戻しボタン」を押して操作します。

曲を早戻す スキップ-ボタン

- 再生中にスキップ-ボタンを長押しすると聴いている曲が早戻しされます。
- スキップ-ボタンを離すと通常再生に戻ります。


一時停止する 再生 / 一時停止ボタン

- 再生中に再生 / 一時停止ボタンを押すと再生が一時停止します(表示部の経過時間が点滅表示されます)。
- もう一度再生 / 一時停止ボタンを押すと再生が再開します。

停止する 停止ボタン

- 再生中に停止ボタンを押すと再生が停止します。停止したあとに再生 / 一時停止ボタンを押すと最初の曲から再生が始まります。

曲を直接選曲する 数字ボタン

- 数字ボタンを押すとその番号の曲(CDの「トラック」)が再生されます。
- 押した数字の曲が実際には入力することはできません。
- ※ 「インデックス(トラックのハイフン以下)」を指定することはできません。

正しい使いかた（つづき）

CD を聴く（つづき）

特殊再生をする

リピートモード／シャッフル再生

《表示例》



1 曲繰り返し・全曲繰り返し

本機では繰り返し再生ができます。

- ・音楽CD、CDまたはUSBメモリーに記録されたMP3ファイルで使用できます。

1. 再生中または停止中に、リモコンの **MODE** MODE/DIMボタンを押す

表示部に「REP」が点灯します。

MODE MODE/DIMボタンを押すたびにリピートモードが切り替わります。

MODE MODE/DIMボタンを押すたびに	表示部の表示
1 曲繰り返し再生	RPT ONE
全曲繰り返し再生	RPT ALL
フォルダー繰り返し再生(MP3)	RPT FOLD*
シャッフル再生	SHUF点灯
繰り返し再生をやめる	(REP、SHUF点灯なし)

* MP3ファイルが記録されたCD、USBメモリーで表示されます。

2. 特殊再生をやめるには、**MODE** MODE/DIMボタンを何度か押して表示部のREP、SHUF表示を消灯させる

イントロモード

《表示例》



曲の冒頭約10秒を順に再生するイントロモードが使用できます。

- ・音楽CD、CDまたはUSBメモリーに記録されたMP3ファイルで使用できます。

1. 再生中または停止中に、リモコンの **INTRO** INTROボタンを押す

表示部に「INTRO」が表示されます。

INTRO INTROボタンを押すたびにイントロモードが入切します。

- ・最初の曲から曲の冒頭約10秒ずつ再生を始めます。
- ・最後の曲まで再生すると停止します。

2. 聴いている曲をそのまま聴くときは、**INTRO** INTROボタンまたは **▶** 再生／一時停止ボタンを押す


表示部の「INTRO」が消灯します。

PROGRAM(プログラム)機能・曲の順番を決めて聴く


本機では、音楽CD、CDまたはUSBメモリーに記録されたMP3ファイルから、お好みの順番で再生させることができます。

※プログラム：お好みの曲目・曲の順番

1. リモコンの CD/USB ボタンで DISCモードに切り替える

- USBでもプログラム機能を使うことができます。
 - CDとUSBの曲を混在させることはできません。
- ※  CD/USB ボタンは、押すたびにCDとUSBが切り替わります。

2. 自動で再生が開始されるため、 停止ボタンで再生を停止させ、 PROGRAM ボタンを押す


- 再生中に  PROGRAM ボタンを押すと、「STOP FIR」と表示されます。

3. MP3ファイルのときは 上下ボタンでフォルダーを選択する

4. スキップ+/- ボタンまたは 数字ボタンで再生する曲を選び PROGRAM ボタンを押す

1曲目として登録されます。

5. 順に選曲して PROGRAM ボタンを押すことを繰り返す

 PROGRAM ボタンを押すことで曲が登録されます。

- 最大20曲まで登録することができます。20曲目を登録すると、「PRG FULL」表示が出て、そのままプログラム再生が始まります。
- 途中の曲の変更などすることができません。

6. 再生 / 一時停止ボタンを押す

プログラム再生が始まります。


プログラム再生中は通常の曲のように早送り・早戻し、次の曲、前の曲、一時停止と自由に操作することができます。

- プログラム再生が終了すると停止状態になります。


再度プログラム再生するには、停止状態で

-  再生 / 一時停止ボタンを押してください。

7. リモコンの MODE MODE/DIM ボタンを押してプログラムの再生モードを選択する

 MODE MODE/DIM ボタンで作成したプログラムを繰り返し再生、もしくは1曲繰り返し再生させることができます。

プログラムの消去

DISC(USB)モードから他のモードへの切替、 電源ボタンを押す、CDの取り出しなどの操作、USBメモリーの取りはずしをします。


正しい使いかた（つづき）

CD を聴く（つづき）



CDのMP3ファイルを聴く

本機では、CDに記録されたMP3ファイルを再生することができます。

音楽CDの再生方法と同じ操作をします。

1. 音楽CDの再生と同様に、リモコンの  CD/USBボタンでDISCモードに切り替える
2. CDカバーを開けてCDをスピンドルに取り付け、CDカバーを閉める
3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

表示部には曲番号と経過時間が表示され、曲が切り替わるときにこれから再生する曲のフォルダー番号と曲番号が表示されます。

- リモコンの(▼▲)上下ボタンで曲の入っているフォルダー（アルバム）を選択することができます。
-  停止ボタンで再生を停止させると、次に  再生／一時停止ボタンを押したとき、最初の曲から再生が始まります。

※「CD(MP3) USBメモリーについて」(➡4ページ)、「CDについて」(➡5ページ)もお読みください。



- ファイルに適切な拡張子（MP3は[.mp3]）を付ける。
拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する恐れがあります。
- サンプリング周波数32kHz、可変ビットレートで記録されたファイルを再生した場合、表示部が一部正しく動作しないことがあります。

MP3 ファイルの再生順番について


- 複数のフォルダーにMP3ファイルを書き込むと、各フォルダーごとにフォルダー番号を付けます。
フォルダー番号の若い順に再生します。
- 書き込まれるフォルダーとファイルの順番情報は、書き込みソフトによって異なることがあります。
予想した再生順番と異なる順でファイルが再生されることがあります。

USB メモリーの MP3 を聴く

本機では、USB メモリーに記録された MP3 ファイルを再生することができます。
音楽CDの再生方法と同じ操作をします。




1. USB 端子に USB メモリーを接続する
2. リモコンの  CD/USB ボタンで USB モードに切り替える

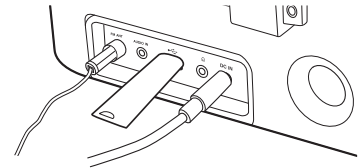
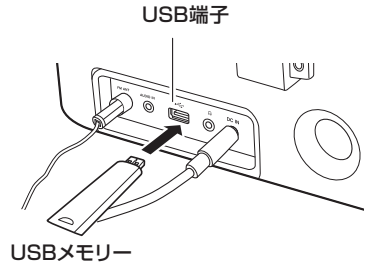
表示部に「USB」が表示されます。

※  CD/USB ボタンは、押すたびに CD と USB が切り替わります。

3. 自動で再生が開始されるため、再生する曲を操作する

リモコンの操作ボタンを使用して、CD 同様の操作をすることができます。

- リモコンの  上下ボタンで曲の入っているフォルダー（アルバム）を選択することができます。
-  停止ボタンで再生を停止させると、次に  再生 / 一時停止ボタンを押したとき、最初の曲から再生が始まります。



注意

- ファイルに適切な拡張子（MP3 は [mp3]）を付ける。
拡張子が付いていないと、音楽ファイルを認識しません。また、実際のファイル形式と違う拡張子が付いていると、異音を発生する恐れがあります。
- USBメモリーの抜き差しをするときには、（金属にさわるなどして）体の静電気をなくしておく。
空気が乾燥して静電気が起こりやすい環境のとき、USBメモリーを扱うと、データを破壊してしまうことがあります。
- サンプリング周波数32kHz、可変ビットレートで記録されたファイルを再生した場合、表示部が一部正しく動作しないことがあります。

正しい使いかた（つづき）

Bluetooth® 機器を聴く

Bluetooth機器の設定

- Bluetoothデバイスの接続設定をすることを「ペアリング」といいます。
 - ペアリングするときは、両方の機器を1m以内に置いてペアリング設定をしてください。
 - 本機は一度に1台のBluetooth機器しか接続できません。
- 本機は以下の手順でBluetooth機器と接続（ペアリング接続）することができます。

Bluetooth機器との初めての接続


《表示例》



1. ペアリングしたいBluetooth機器の電源を入れる

Bluetooth接続モードにしておきます。

2. リモコンの BTボタンでBTモードに切り替える

表示部に「BT」が表示され、右下の  BTマークが点滅表示されます。

3. 接続するBluetooth機器のサーチ機能を利用して、本機の製品名「SMS4BT」を検索する


検索が完了すると、接続する外部機器の表示部に「SMS4BT」が表示されますので、それを選択し「ペアリング」を開始します。

※ ペアリング接続・設定方法は、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

※ PINコードが要求された場合は、4桁の数字「0000」を入力してください。

4. 接続が成功すると信号音が鳴り、表示部右下に BTマークが点灯表示される

5. 接続がうまくいかないときは、リモコンの 再生／一時停止ボタン（ペアリングボタン）を長押しする

または本機のリモコンの  電源ボタンを押して電源を切り、接続機器の電源を一度切って、もう一度最初から接続しなおしてください。

⚠ 注意

本機はSCMS-Tに対応していません。接続するBluetooth対応機器がSCMS-T対応のときは、ご使用になれないことがあります。詳しくはBluetooth対応機器の取扱説明書をご確認ください。

Bluetooth機器との2回目以降の接続

ペアリングをしたBluetooth機器は、自動的に接続されます。再接続されないときは、「Bluetooth機器との初めての接続」の手順に従って再度接続してください。

※ 接続するBluetooth機器によっては、自動的に接続されないことがありますが、本機の故障ではありません。

別のBluetooth機器との接続

別の接続機器を本機に接続したいときは、現在接続されている機器の接続を切断してください。本機は一度に1台の端末しか接続できません。

1. 接続していた外部機器のBluetooth機能を解除する

• 外部機器に表示されている、本機の製品名「SMS4BT」の登録を解除します。

2. 別の外部機器と「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう


3. 接続できないときは、リモコンの 再生／一時停止ボタン（ペアリングボタン）を長押しして、再度「Bluetooth機器との初めての接続」を行なう


※ Bluetooth機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。

Bluetooth機器の音楽を聴く

Bluetooth機器の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

1. 「Bluetooth機器との初めての接続」の設定・ペアリングを行なっておく
2. 本機とBluetooth機器が接続していることを確かめる

Bluetooth接続されているときは、表示部右下に  BTマークが点灯表示されます。

未接続のときは  BTマークが点滅表示されます。

※ Bluetooth機能の接続、切断操作につきましては、お手持ちの外部機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。


3. 本機に接続したBluetooth機器で再生を始める


本機のリモコンまたは本体の操作部でBluetooth機器のコントロールができます。

※ 接続したBluetooth機器の音声出力レベルにも注意してください。出力レベルが小さい場合は正しく再生されないことがあります。

本機のリモコンで操作できるBluetooth機器の機能

 再生／一時停止

 スキップー

 スキップ+

このコントロールする機能は、BluetoothのAVRCPプロファイル対応機器との接続時のみ機能します。

※ お使いのBluetooth機器によっては正しく操作できない場合があります。

AVRCPプロファイル対応機種でも、このコントロールに対応しない機器や、対応コントロールであっても、コマンドを送信する方法によって正常に機能しない場合があります。

正しい使いかた（つづき）

FMラジオを聴く

FMラジオを聴く

本機はFMラジオ放送を聴くことができます。76～108MHzの受信ができ、FM補完放送（ワイドFM）に対応しています。

受信状態が悪いときは、本体に取り付けたFMアンテナの向きなどを調節してください。

1. リモコンの **FM** FMボタンでFMモードに切り替える

表示部に「FM」が表示されます。

2. 《自動プリセット》リモコンの **PROG** プログラムボタンを長押しする

表示部に「AUTO」と表示され、自動プリセットが開始します。



A digital display showing the word "AUTO" in large, bold, black characters on a white background.

《表示例》



A digital display showing the number "12" on the left and "93.00" on the right, both in large, bold, black characters on a white background.

自動プリセットが終了すると、表示部に「PROGRAM COMPLETE」と表示され、プリセット番号01の放送局が選局されます。

※自動プリセットで放送局がひとつもプリセットされなかったときは、表示部に「CHECK ANTENNA」と表示されます。本体に取り付けたFMアンテナの向きなどを調節してください。

プリセットをするときの注意

- プリセットする前に、窓際などの電波状態の良いところへ移動させてよりよい受信状態で自動プリセットするようにしてください。
- プリセットするのは日曜深夜などは避けるようにします。放送されていない局があり、本来受信できるはずの局を受信できないことがあります。
- 自動プリセット中は、他の操作はできません。自動プリセット終了まで操作するのはお待ちください。

《表示例》



A digital display showing the letters "FM" in large, bold, black characters on a white background.

- FMアンテナは、子供の手の届く範囲に貼り付けない。
アンテナ線がからみついたりして、事故の原因になります。

FMアンテナ端子についてご注意ください

- 本機のFMアンテナ端子の形状は「PAL型」です。
本機付属アンテナ以外の同軸端子タイプのアンテナやケーブルなどをご使用になるときは、市販の「PAL→同軸RF変換アダプター」をお買い求めください。
- 本機PALアンテナ端子に同軸端子を無理に接続すると、破損しますのでご注意ください。

⚠注意

3. プリセットされた局を聴くときは、リモコンの(▼▲)上下ボタンでプリセット局を選局する

4. 自動選局または手動選局で聴きたい放送局を受信する

《自動選局》

リモコンの◀◀ スキップーボタンまたは▶▶スキップ+ボタンを長押しする。

- 自動選局が始まったら指を離してください。
- 放送局を受信すると自動的に止まります。

《手動選局》

リモコンの◀◀ スキップーボタンまたは▶▶スキップ+ボタンを短く押す。

- ボタンを押すたびに 0.1MHz ずつ周波数が変わります。

※ 電波が弱く、自動選局が自動で止まらないときは手動選局を行なってください。

5. 《手動プリセット》プリセットしたい放送局を選局したあと、リモコンの[PROG]プログラムボタンを押す

[PROG]プログラムボタンを押すと、プリセット可能な、空き番号（プリセット番号）が表示され、表示部上の「PROG」マークが点滅します。

6. リモコンの[PROG]プログラムボタンを押す

表示された空き番号以外にも、(010)数字ボタンまたは(▼▲)上下ボタンを使って任意のプリセット番号を指定することができます。プリセット番号を指定したら、リモコンの[PROG]プログラムボタンを押してください。

指定したプリセット番号に放送局が登録されます。

※ 既に登録されているプリセット番号を指定したときは上書きされて新しく設定した放送局になります。

プリセットは最大 20 局まで可能です。

プリセット局の消去

プリセット局を選局して、停止ボタンを長押しすると、表示されていたプリセット局が消去されます

1. リモコンの(▼▲)上下ボタンでプリセット局を選局する

2. リモコンの(●)停止ボタンを長押しする

表示部に「DELETED」と表示されたあと、プリセット局が消去されます。

ステレオ・モノラル受信切り替え

FM ステレオ放送が聴き取りにくいとき、モノラル受信に切り替えると聴き取りやすくなる場合があります。

※ 本機のスピーカーおよびヘッドホン端子からの出力はモノラル音声です。

1. リモコンの[MODE]MODE/DIMボタンを押してステレオからモノラルに切り替える

「MONO」と表示したあと、通常の表示に戻ります。

2. リモコンの[MODE]MODE/DIM を押してモノラルからステレオに切り替える

「STEREO」と表示したあと、通常の表示に戻ります。

正しい使いかた（つづき）

外部入力を聴く

デジタルオーディオプレーヤーなどの外部機器を外部入力端子に接続し、本機のスピーカーから音を出することができます。

本機には本体裏面にAUDIO IN端子（φ3.5mmミニプラグの外部入力端子）があります。

《表示例》



AUDIO IN 端子を使う



機器の接続・取りはずしのときは必ず音量を最小にする。
リモコンの(MUTE)消音ボタンは使用しないでください。

1. 本体裏面の AUDIO IN 端子に外部機器を接続する

- 本機の AUDIO IN 端子はφ 3.5mm ミニプラグです。
- 付属のオーディオ接続ケーブルで接続できない場合は、市販品をご使用ください。

2. リモコンの[AUDIO]AUDIOボタンでAUDIO INモードに切り替える

表示部に「AUDIO IN」が表示されます。

3. 外部機器を再生状態にする

4. リモコンの(VOL+) (VOL-)音量ボタンで音量を調節する



- レコードプレーヤーを取り付けるときは、フォノイコライザーアンプ内蔵の機器を接続するか、フォノアンプを介して接続する。本機はフォノ出力に対応していません。
- 外部機器の音量を調節できる機種では、適切な音量に設定の上、使用する。他のモードの音とさほど変化のない音量に設定してください。大きく違った音量に設定されていると、モードを変更するたびに音量を設定しなおす必要があります。

便利な使いかた

本機は、内蔵時計を利用して便利に使うことができます。

スリープタイマーを使う

設定した時間後に電源を切る（スタンバイ状態）ことができます。

1. リモコンの[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押してスリープタイマーを設定する

表示部に「SLEEPOFF」が表示され、[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押すたびに「SLEEP」の右側がOFF → 120 → 90 → 60 → 45 → 30 → 15 → OFF（単位は分）と切り替わります。

設定した時間後に電源が切れます。

- スリープタイマーが設定されると、「Z²」マークが点灯します。

2. 再度設定するとき、キャンセルするときは、リモコンの[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押して「SLEEP」の右側の数値を変更する

[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押して、数値を設定しなおします。

- スリープタイマーをキャンセルするときは、OFFに設定します。「Z²」マークが消灯します。

オンタイマーを使う

設定した時間に自動で電源を入れて、設定したモード（FM/DISC(CD)/USB）の音を設定した音量で再生することができます。

- 表示部に何も表示されていないエコパワースタンバイ状態のままではオンタイマーは設定できません。リモコンの、[CLOCK]クロックボタンを押して、表示部に時計表示をさせて、オンタイマー設定をしてください。

オンタイマーを使う前に…

- 時計を合わせてください(▶10ページ)。
- 再生する音源（FM、DISC(CD)、USBメモリー）を準備してください。

1. スタンバイ状態でリモコンの[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを長押ししてオンタイマーを設定する

「TIMER SET」と表示されます。

2. リモコンの[SKIP+]スキップ+ / - ボタンで再生するモードを選び、リモコンの[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押す

BTモード、AUDIO INモードは設定できません。

FMに設定したとき

- 最後に選局したFM局の音声流れます。

DISC (CD)に設定したとき

- 本体スピンドルに取り付けられているCDの曲がレジューム再生されます。MP3が記録されたCDでも同様です。

USBに設定したとき

- CD同様、USBメモリーの曲がレジューム再生されます。

※DISC(CD)またはUSBに設定したとき、CDやUSBメモリーが再生できない場合はFMの音声流れます。

この取扱説明書は、リモコンでの操作方法を中心に説明しています

便利な使いかた（つづき）

3. リモコンの(◀▶▶▶)スキップ+/-ボタンでオンタイマーの「時」「分」を設定して[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押す

- 「時」を設定後、[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押すと「分」を設定することができます。
 - 「分」を設定後、[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押すと「音量」を設定することができます。
- ※設定をやめるときは(■)停止ボタンを押す、または90秒以上そのままにしておきます。

4. リモコンの(◀▶▶▶)スキップ+/-ボタンで再生したい音量を設定して[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押す

- オンタイマーが実行されたとき音量は設定した音量まで徐々に大きくなります。

[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押して、表示部に時刻が表示されたら、設定完了です。

タイマーが設定されると、表示部に(●)マークが点灯します。

※オンタイマーを設定すると、毎日同じ内容で動作します。

オンタイマーの入れ

1. オンタイマーを有効(オン)にするには、スタンバイ状態でリモコンの[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押す

- [TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押すたびにオンタイマーが入切します。
- オンタイマー有効(オン)時は(●)マークが点灯します。

2. オンタイマーを無効(オフ)にするには、[TIMER]TIMER.SLEEPボタンをもう一度押す

スタンバイ状態で[TIMER]TIMER.SLEEPボタンを押して、表示部の(●)マークを消灯させます。



注意

- オンタイマーの音量調節は慎重に行なう。
- 設定する再生するモードに気をつける。

3. タイマー設定をリセットする場合は、ACアダプターをコンセントから抜く

時刻はリセットされます。

この取扱説明書は、リモコンでの操作方法を中心に説明しています

お手入れのしかた



お手入れの際は、必ず AC アダプターをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。



- ベンジン・シンナーでは拭かない。
変色や変形の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。
変色・キズの原因になります。
- 本体に水をかけたりしない
感電・故障の原因になります。

本体とホーン部のお手入れ

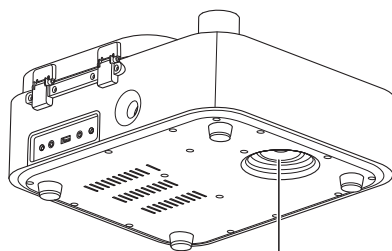
本体とホーン部の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸してかたくしぼった柔らかい布で拭き取り、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。キズが付く原因となることがあります）。
ホーン部は必ずはずしてお手入れしてください。

ホーン部取付位置には、ものを入れないでください。入ってしまった場合は、本体をうら返して取り出してください。

底面にはホコリがたまるため、定期的に掃除機などできれいにしてください。



ウーファースピーカーに触れないように注意する。



ウーファースピーカー

本体底面をお手入れする場合は、ウーファースピーカーを傷つけないようにご注意ください。

CDレンズ部のクリーニング

CDレンズ部には触れないでください。

レンズが汚れるとCDの読み取りが悪くなります。

- ホコリがたまった場合、掃除機で吸い取るか、ブローアーなどで吹き飛ばしてください。
- 自己責任の上、慎重に市販のCDレンズクリーナーを使用してください。クリーニングしすぎるとCDレンズをかえって傷つける原因になります。
- 湿式の場合、クリーニング液多いと、CDプレーヤー内に飛び散るなどすると、悪影響が出る場合があります。それぞれレンズクリーナーの取扱説明書をお読みになって対応してください。

結露について/ CDレンズ部に水滴が付いた場合

本機を寒い部屋から暖かい部屋に持ち込んだりすると、CDの信号面・CDレンズがくもり、正しくCDを再生できなくなることがあります。

その場合は、拭いたりせず、本機の電源が入った状態で30分～1時間ほどそのままにしておくと、まわりの温度に順応し、問題なく再生できるようになります。

修理・サービスを依頼する前に

⚠ 警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
共通部		
電源が入らない	• AC アダプターがコンセントからはずれている	AC アダプターをコンセントにきちんと接続する
音が出ない	• 消音状態になっている	リモコンの MUTE 消音ボタンで消音を解除する
	• 入力切替が目的のモードに設定されていない	本体の 電源 / 入力切替ボタンまたはリモコンの各入力ボタンで目的のモードに切り替える
	• ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されている	ヘッドホンを取りはずす
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続しても正しく聴こえない	• ヘッドホンのミニプラグが奥まで差し込まれていない	ミニプラグを奥まできちんと差し込む
	• 4極以上のミニプラグのヘッドホンを使用している(4極以上のミニプラグは正しく使用できないことがあります)	3極のミニプラグヘッドホンを使用してみる、または変換プラグなど使用してみる
雑音が入る	• 近くで電波など発する機器 (携帯電話など) を使用している	電波など発する機器から離す、もしくは電波など発する機器を離す
電源が自動で切れる	• オートパワーオフ機能	本機では停止状態または一時停止状態で15分以上操作しないと電源が自動で切になります (⇒11ページ)
正常な動作をしない		一度ACアダプターを抜いて接続しなおす
リモコンで操作できない	• 電池が消耗している	新しい電池に交換する
	• 操作する距離が遠い	リモコン使用可能範囲は本機から約5mです
	• リモコンが本機と正しく接続されていない	一度ACアダプターを抜いて操作しなおす (⇒9ページ)
CD 部		
再生が始まらない	• CD カバーが閉じられていない	CD カバーを閉じる
	• CD が裏返しに載せられている	ラベル面を上にして載せる
	• CD の汚れがひどい	クリーニングをする
	• CD-R/RW がファイナライズされていない	ファイナライズされた CD を使用する ^{*1}
	• CD が著作権保護技術でエンコードされている	CD によっては再生できない
	• レンズが汚れている	レンズのお手入れをする
	• 結露状態になっている	露のつかない場所に移動し、結露を乾燥させる
音がとぶ	• 振動がある	振動のない場所に置く
	• CD に大きなキズがある	CD を修復する
MP3を読み取らない	• フォーマットが違う	ISO9660でフォーマットして書き込む
	• 書き込んだセッションが違う	MP3のCDは1度にすべてを書き込む (マルチセッションに対応しません)
	• 拡張子「.mp3」が付いていない	拡張子「.mp3」を付ける ^{*2}

症状	主な原因	処置
曲が繰り返し再生される	• リピートモードがオンになっている	リピートモードをオフにする
曲の最初だけ再生されて次の曲に移る	• イントロモードがオンになっている	イントロモードをオフにする
曲が収録されている順番通りに再生されない	• プログラムが設定されている • シャッフル再生がオンになっている	プログラムを消去する シャッフル再生をオフにする
USB 部		
USBメモリーを認識しない	• USBメモリーがFAT32以外のファイルシステムでフォーマットされている • USBハブなど介して接続している • HDDを接続している	USBメモリーをFAT32でフォーマットしなおして書き込む ^{※2} 本体に直接接続する USBメモリーを使用してください
MP3を読み取らない	• USBメモリーが読み取れないフォーマットを使用している • ファイルに拡張子「.mp3」が付いていない	FAT32でフォーマットしなおして書き込む ファイルに拡張子「.mp3」を付ける ^{※2}
曲が繰り返し再生される	• リピートモードがオンになっている	リピートモードをオフにする
曲の最初だけ再生されて次の曲に移る	• イントロモードがオンになっている	イントロモードをオフにする
曲が収録されている順番通りに再生されない	• プログラムが設定されている • シャッフル再生がオンになっている	プログラムを消去する シャッフル再生をオフにする
FM ラジオ部		
雑音が入る	• テレビなどが近くにある • 電波状態が悪い • アンテナが正しく接続されていない	テレビなどから離す 窓際などで試してみる 正しく接続する
外部入力部		
音が小さい	• フォノイコライザーの付いていないレコードプレーヤーをつなげている • 接続している機器の音量が小さい	フォノアンプを介して接続する 接続している機器の音量を上げる
Bluetooth 部		
音が出ない	• Bluetooth 機器との距離が遠い • 無線 LAN や電子レンジ、無線機器などの影響を受けている • 正しくペアリングされていない • SCMS-T の送信	Bluetooth機器と本機を10m以内に近づける 影響しそうな機器の使用をやめてみる もう一度ペアリングしてみる 本機は SCMS-T に対応していません
映像機器とつなぐと、映像より音が遅れる	• Bluetooth の通信遅延	状態によって Bluetooth では若干遅れることがあり、映像と音声を一致させるには外部入力端子に音声を接続する

※1 ファイナライズの方法については、ご使用の録音機器の取扱説明書をご覧ください(本機ではファイナライズできません)。

※2 音楽ファイルを認識しなかったときは、「NO SONG」と表示されます。

修理・サービスを依頼する前に（つづき）

症状	主な原因	処置
ペアリングできない	• Bluetooth 機器との距離が遠い	Bluetooth機器と本機を1m以内に近づけてペアリングする
	• Bluetooth 機器側の問題	電源など十分に確保してから試してみる
	• 先に別のBluetooth機器が接続されている	別のBluetooth機器が接続されていないか確認する

主な仕様

仕 様

アンプ部

定格出力 (RMS・THD10%)	1.1ch 15W (ウーファー) ・5W (ホーン) 総合20W
-------------------	-----------------------------------

CD部

再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA、MP3

USB部

バージョン (端子)	USB2.0 マスストレージクラス (タイプ A)
使用可能容量	32GB 以下
ファイルシステム	FAT32
再生可能フォーマット	MP3 (拡張子 .mp3、.MP3)
最大読み込みファイル数	99
最大読み込みフォルダー数	99

チューナー (FM ラジオ) 部

形式	PLL オートスキャン
受信バンド	FM
FM 受信周波数	76 ~ 108MHz (ステレオ放送対応)
プリセット数	20

スピーカー部

タイプ	フルレンジバスレフタイプ
ドライバー	5cmフルレンジ
ウーファードライバー	7cm
インピーダンス	4 Ω

Bluetooth部

バージョン	Ver.5.3
プロファイル	A2DP、AVRCP
コーデック	SBC
SCMS-T	非対応

基本仕様

外部入力端子	1 系統 (3.5mm ミニプラグ)
出力端子	3.5mm ヘッドホン端子
外形寸法	(約) W404 × D348 × H506 mm
質量	(約) 4.5 kg
電源	AC100V 50/60 Hz DC16V 2.0A
消費電力	動作時 20W (エコパワースタンバイ時 0.6W)

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

長年ご使用のCDステレオシステムはよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや AC アダプターが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから AC アダプターを抜いて、必ず販売店またはドゥシジャカスターセンターに点検をご相談ください。

株式会社 ドウシシャ

〈東京本社〉〒108-8573 東京都港区高輪2-21-46

〈大阪本社〉〒542-8525 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…

⇒ドウシシャ カスタマーセンター

〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

【営業日】平日9:00～17:00 【休業日】土日祝日、年末年始、当社指定日

TEL 0778 (24) 2779 FAX 0778 (24) 2799

※ 製品名、型番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願い致します。

※ FAXもしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

《補足説明》ホーン部取り付けについて

取扱説明書の9ページの「ホーン部の取り付け」についての補足説明書です。

取扱説明書通りにホーン部を正面にむけ、本体のホーン部取り付け位置に、取り付けていただくだけで使用することができます。

しかしホーン部について、手作り加工していることもあり、ホーン部取り付け口部分の口径に若干の個体差が発生しています。

ホーン部取り付けたあとに、ホーン部がぐらつくような場合は、ホーン部取り付け位置の背面に埋め込まれた固定用ネジを付属の六角レンチを使用して、軽く締め付けてください。

ホーン部の取り付け

1. 本体左上のホーン部取付位置に、ホーン部を正面にして先端を取り付ける

ホーン部は正面を向け、本体に対して垂直に取り付けてください。



注意
本体を持ち運ぶ際や背面などの接続をやりなおすときは、ホーン部をはずす。本体に角度を付けると、不意にホーン部がはずれて破損の原因になります。

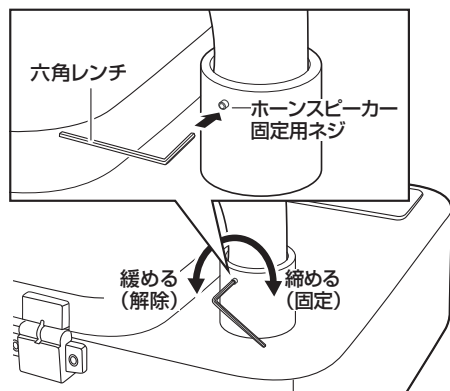
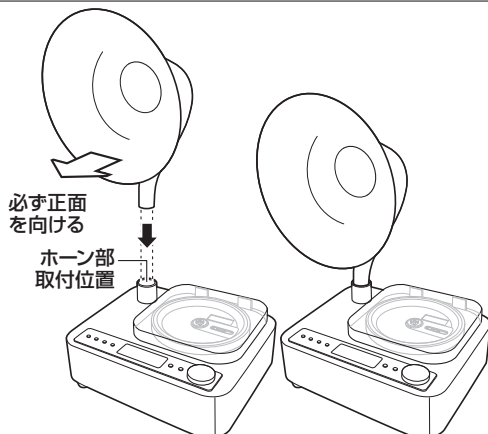
2. ホーン部取付位置の背面側に埋め込まれたホーンスピーカー固定用ネジを、付属の六角レンチで軽く締め付ける

ホーン部が軽く左右に動く程度に、軽く締め付けてください。



注意

- ホーンスピーカー固定用ネジは、強く締めすぎないように注意する。ホーンスピーカーに傷をつける原因になります。
- 本体を持ち運ぶときに、ホーンスピーカー部を持たないようにする。本体部が落下する原因になります。本体を持って移動させるか、ホーンスピーカー部をはずした状態で運んでください。



取扱説明書の8ページの「梱包部品一覧」に一部記載もれがありました。以下を確認ください。

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1個	ホーンスピーカー固定用ネジ (1本は取付済、1本は予備用として付属)	2本
ホーン部	1個	六角レンチ	1本
リモコン	1個	ACアダプター	1個
単4形乾電池 (おためし用)	2個	取扱説明書 (保証書含む)	1冊
FMアンテナ	1本		
オーディオ接続ケーブル (φ3.5 mm)	1本		